

はじめに

私たちの住むふるさとは、遠い祖先から語り伝えられてきたむかし、むかしの話
がたくさんあります。それらの話は、人の世をいかに住みよくするかという生活の知
恵でもありました。

人はだれでも嬉しいことや、楽しいことは好きです。おもしろ、おもしろく一生をす
ごすことができたなら、こんな幸せなことはありません。でも人生には、かならず苦しい
ことや、悲しいことに合います。

この本は、社会教育施設活動の一つとして、昭和四十八年九月に発刊（鮫川村公民館）
された「ふる里の民話と伝説」のなかから、少年向けに編集いたしました。
この中のお話がきつとみなさんに、楽しさ、苦しき、悲しき、また知恵のはたら
かせかた、それに辛抱強さなどいろいろ語りかけてくれると思います。

昭和五十八年二月

鮫川村歴史民俗資料館長

鈴木英亮